

【事例紹介】

MODBUSマスタ/スレーブ機能を使用した運用事例

MODBUSマスタ/スレーブ機能

- ・ モニタッチはMODBUSマスタまたはMODBUSスレーブとして、MODBUS機器と接続できます。
- ・ 通信方法はシリアル通信 (RTU, ASCII) とEthernet通信 (TCP/IP*) に対応しています。

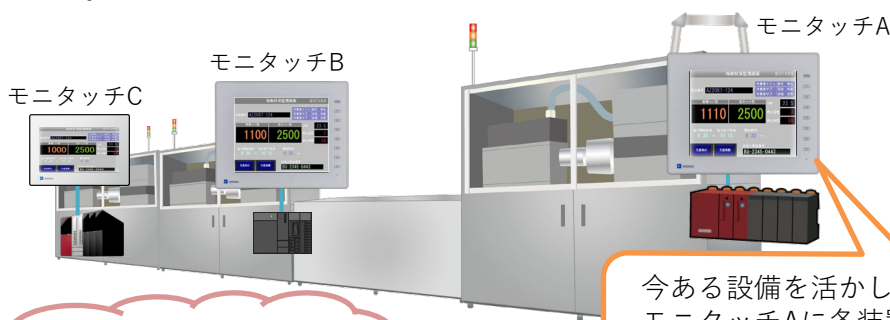
* TCP/IPは内蔵LANポートのみ対応

Before

各装置でモニタッチを使用しているが、1つのモニタッチで稼働状況を見える化したい



装置によって
PLCメーカーが異なる…

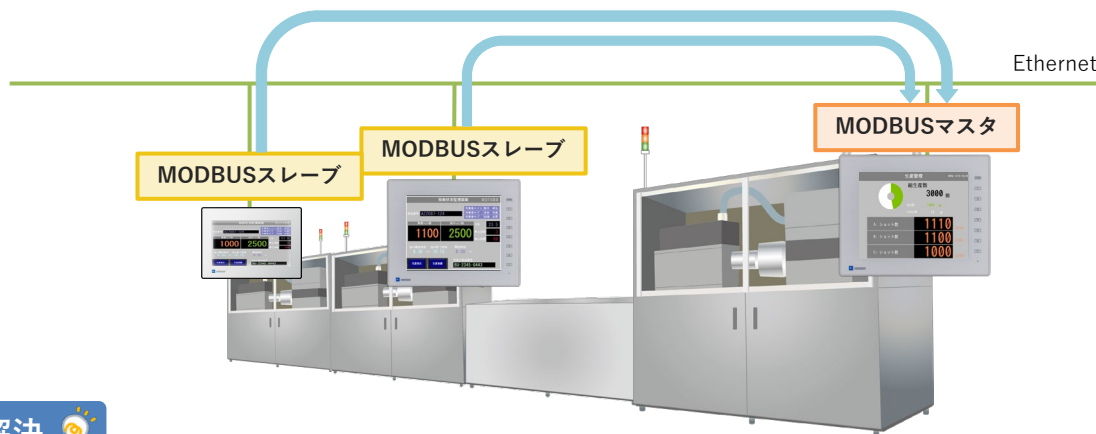


今ある設備を活かして
モニタッチAに各装置の稼働状況を
集約したい

MODBUSマスタ/スレーブ機能を使えば簡単！

After

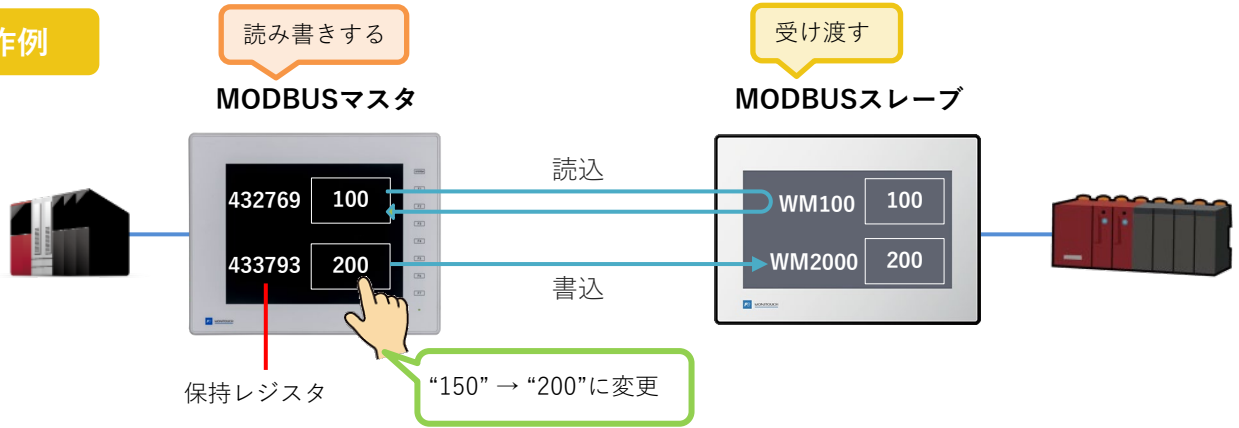
MODBUSスレーブの情報をMODBUSマスタに集約できる！



解決

モニタッチがゲートウェイとなり、異なるPLCの情報をMODBUSプロトコルを使ってやり取りできます！

動作例



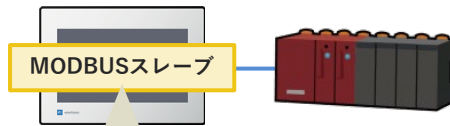
どうしてマスタの保持レジスタとスレーブのPLCデバイス間でやりとりできるんだろう…

それは…!

MODBUSスレーブとなるモニタッチ側で「デバイステーブル」を登録しているからです！

<デバイステーブルとは>

MODBUSマスタがアクセスするための保持レジスタが割り当てられているテーブルです。モニタッチに接続した機器のアドレスを任意に割り付けられます。
保持レジスタ：432769 (8000H) 以降にPLCデバイスを登録できます。



デバイステーブル		
保持レジスタ	MODBUSスレーブ側	
400001 (0000H) - 416384 (3FFFH)	内部デバイス \$u0 - 16383	固定
416385 (4000H) - 418432 (37FFFH)	内部デバイス \$s0 - 2047	
432769 (8000H) - 433792 (83FFFH)	PLC1 WM100 - 1123	任意に設定可能
433793 (8400H) - 434816 (87FFFH)	PLC1 WM2000 - 3023	
:	:	

詳しくは『[Modbusスレーブ通信仕様書](#)』を参照してください。

MODBUSスレーブのデバイステーブルを参考にMODBUSマスタでデバイス(保持レジスタ)を設定するだけだね！

モニタッチのMODBUSマスタ/スレーブ機能をぜひご活用ください！

【発行元】

発紘電機株式会社
モニタッチコールセンター

TEL : 0120-128-220
E-Mail : gijyutsu1@hakko-elec.co.jp
URL : www.hakko-elec.co.jp

[その他のMONITOUCH EXPRESSはこちら](#)

